

開館時間

9:30～19:00

(学習スペースなどの利用時間は9:00～21:00を検討しています)

現花巻図書館(9:00～18:00)

全体面積  
(延べ床面積)

4,500m<sup>2</sup>

現花巻図書館  
(1,304m<sup>2</sup>)

現時点で検討を進めている、新しい図書館のサービスや機能などは次のとおりです。

新しい図書館って、  
どんな図書館？

開架(\*)の本の数

\*利用者が自由に本を取り出して読むことができる場所

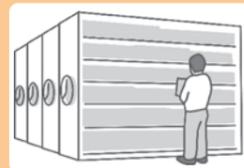
現花巻図書館  
9万冊

開館時  
16万冊

最大  
23万冊

全ての本の数  
(収蔵資料数)

建設後、数年で書庫の空きがなくならないように十分なスペースを確保。また大迫・石鳥谷・東和図書館の共同書庫も兼ねます。



現花巻図書館  
21万冊

開館時  
28万冊

最大  
70万冊

多様な活動スペース

800m<sup>2</sup>

現花巻図書館(74m<sup>2</sup>)

▶学習スペース▶講座・集会・会議室  
▶研究室・高齢者・障がい者へのサービス対応室▶お話(読み聞かせ)室、親子ふれあい室▶フリースペースなどを設置予定

カフェスペースと  
多目的スペースも新設予定

これまでのワークショップで出た意見などを踏まえ、室内に飲食可能なカフェスペース(喫茶)を設置予定です。地元事業者の出店も検討します。

また、イベントやワークショップ、市民の研究や先人資料の展示、会議、講座に利用できる多目的スペースも設置予定です。



開架・閲覧スペース

2,200m<sup>2</sup>

現花巻図書館(592m<sup>2</sup>)

▶展示情報コーナー▶案内サービスカウンター▶資料検索コーナー▶レファレンス(検索・相談)カウンター▶新聞雑誌スペース▶書架・閲覧スペース▶地域(郷土)資料・行政資料スペース▶視聴覚スペース▶子ども向け書架・閲覧スペース▶ティーンズ向け書架・閲覧・グループ研究等スペースなどを設置予定

# 新花巻図書館の概要について お知らせします

市では、平成29年に策定した「新花巻図書館整備基本構想」に基づき、新しい図書館の基本的なサービスや機能、施設に必要な規模や建設場所を盛り込んだ「新花巻図書館整備基本計画」の策定作業を進めています。

策定に当たっては、専門家や、図書館の整備について提案している市民団体の代表者などで構成する「新花巻図書館整備基本計画試案検討会議」を設置。15回にわたって会議を開催しています。

これまで皆さんからいただいた意見などを踏まえてまとめた、新しい図書館のサービスや機能などをお知らせします。

## 新しい図書館の 建設候補地はどこ？

新しい図書館の建設場所については、JR花巻駅前と総合花巻病院跡地の二つに絞られてきたと考えています。現在、二つの候補地について、事業費やイメージ図の比較ができる資料の作成を進めており、10月中旬にその資料の完成を予定しています。

資料の完成後は、市民の皆さんが建設候補地について話し合うことができる「対話型」による意見集約を進める予定です。具体的な意見集約の手法については決まり次第、広報はなまきや市ホームページなどでお知らせします。

なお、昨年度は「花巻病院跡地に新図書館をつくる実行委員会」から、総合花巻病院跡地に建設してほしいとの要望と署名をいただきました。また、「HARUMAKI BOOK MARKS」からは、市内の高校生にアンケートを行った結果として、JR花巻駅前に建設を希望する生徒が多かったとの報告がありました。

## 新花巻図書館整備基本構想の基本方針

本市は、宮沢賢治や萬鉄五郎をはじめとした多くの先人を輩出しています。江戸時代の先人を顕彰した「鶴陰碑」に記された人々は、自らの研さんに精進し学術文化はもとより地域や産業の振興と発展、そして後継者の育成に努力を重ねてきました。花巻には歴史的に学びの風土があり、この精神は私たちも次の世代に受け継いでいかなければなりません。

新しい花巻図書館の整備にあたっては、市民一人一人の生活や活動を支援することを基本的に考えながら、先人が育んできた「学びの精神」を受け継ぎ、図書館が次世代を担う子どもの読書活動を支援し豊かな心を育てる施設として、また、情報を地域や産業の創造に結びつける施設として、まちや市民に活力と未来をもたらす図書館を目指して、次の三つを基本方針とします。

### 郷土の歴史と独自性を大切に、豊かな市民文化を創造する図書館

花巻市は輝かしい功績を遺した数多くの先人を輩出しています。この先人達を顕彰し、次の時代を担う子どもたちにその精神を継承し、郷土を愛する心を育むことができるよう、郷土資料や先人の資料の充実を図ります。

### すべての市民が親しみやすく使いやすい図書館

子ども、高齢者、障がい者、全ての市民が気軽に利用できるように、親しみやすく使いやすい施設とします。自然や周辺に調和した明るくゆったりしたスペースとし、読書はもちろんのこと、くつろぎの場でもあり、交流の場ともなる施設とします。

### 暮らしや仕事、地域の課題解決に役立つ知の情報拠点としての図書館

これからの図書館は市民の読書や生涯学習を支援するだけでなく、情報を得る場、生活、仕事、教育、産業など各分野の課題解決を図る図書館であることが求められているため、広い分野にわたる資料やレファレンス(検索・相談)機能の充実を図ります。